

会議記録

令和3年12月23日

- 会議名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
第2回 竹田・前山地域部会
- 日時 令和3年12月22日（水）19:30～21:00
- 場所 前山小学校 会議室
- 出席者 委員：青木修、余田義信、吉見祐也、井上直人、荻野有希、足立三友紀、
四方まどか、蘆田勤、吉見典彦、余田淳子
事務局：足立次長、足立課長、井尻課長、船越係長、小田指導主事、畑中

●内 容

1 統合の時期及び場所について

副部会長より、竹田小・前山小 PTA、認定こども園あいいくの丘で実施したアンケートの概要と結果の説明があり、事務局が配布した学校施設の比較資料と併せ、協議を実施した。

【意見等】

- ・2校の合計が一番多いのは現在の4年生でその後は減っていくことが予想されるため、令和6年、7年あたりがいいのではないか。
- ・段階的な統合でその都度、校歌や校章を変えていくのは手間がかかる。
- それらを変えないという選択肢もあり得る。その辺りも含めて検討してほしい。（事務局）
- ・校名は竹山小学校とし、校歌・校章は、竹山中学校のものを一部修正し、使用してはどうか。
- ・複式学級が発生する前に統合するのがよい。
- ・吉見・鴨庄・三輪地域部会の資料を見ると PTA の統合に関するすり合わせが大変そうに感じた。そのようなことを考慮すると、令和5年度の統合は厳しいと思う。
- ・教育現場からすれば、校歌・校章は児童たちからすればそこまで大きな問題ではないと思う。子どものことを考えると、5年ほど先までこの問題が尾を引いているのは良くないと考える。
- ・複式学級を避けることで丹波市立学校適正規模・適正配置方針に対応することができる。
- ・前山小 PTA の役員会で寄せられた意見では令和5年度が一番多く、その次に多いのが令和8年度以降であった。令和5年度の場合は準備が相当大変になるということを伝えたところ、そうであるなら、令和6年度に統合してほしいという意見もあった。
- ・前山小学校に30脚並べた図を見ると、令和5年度では全員が教室に入りきることが難しく感じる。なるべく早く統合を目指し、前山小学校の校舎を使うのであれば、令和6年度のほうがいいと思う。また、どちらの校舎でも使用できる形で協議を進めていくためにも令和6年度がよいと思う。
- ・保護者にもアンケート結果等を報告し、意見を伺う機会を設ける必要があると考えている。
- ・場所や時期が決まった場合は、具体的な統合の協議事項やスケジュールはどのようになるのか。1年ぐらいあれば統合は可能なのか。
- 可能だが、場所や校名・校歌・校章が決まっているのが前提であるため、この部会では

まずそれらを早く決定する必要がある。(事務局)

- ・令和4年度中に場所や校名・校歌・校章を決めれば、令和6年度には統合は可能か。
- 来年度の今頃まで結論が出ないとその後の協議スケジュールに余裕がなくなるため、令和4年度の7月ごろには場所等の決定は必要だと考えている。(事務局)
- ・場所についての共通認識が図れないと協議が進まないの、そこをまずは議論しないとイケない。
- ・小学校とこども園それぞれのアンケートの結果を見て、それぞれの様子をイメージし、何故その結果になったのかを考えることが大切である。
- ・統合の時期が決まった後も、合同で授業を行うなど統合までの動きが大切である。
- ・今日は前山小学校の校舎見学をするので、場所の決定は次回に竹田小学校の校舎見学をしてからのほうがよいのではないか。
- ・アンケートでは60~70%が保護者対象の見学会を希望しているという結果が出ているので、早期に見学会を実施すべきである。

2 その他

- ・次回日程 令和4年1月21日(金) 19時30分~
竹田小学校